

平成29年4月23日執行
彦根市長選挙

選挙公報

彦根市選挙管理委員会

前より、前へ。!!

01. 子育ての安心感を前へ

- ・ 中学3年生までの医療費の無料化
- ・ 給食費無料化に向けた取り組み
- ・ 市費負担教職員の増員等による、教師の児童生徒への関わり度向上
- ・ 市民の学びの拠点になる図書館建設の推進

02. 若者チャレンジを前へ

- ・ 既存の学校施設を開放し、子どもや地域の人々が共に学べる場の整備
- ・ シャッター街や空き家の一部を市が預かり、若者が活用できる場所として無償提供
- ・ 若者が自ら提言し、市政に参画できる制度の創設

03. 高齢者、障がい者の不安解消を前へ

- ・ 市民にとって安心な老後の居場所の構築
- ・ 要介護者が在宅でも生活できるよう、医療と福祉の多職種連携の推進
- ・ 認知症対策講座（予防／早期発見／発症後）や、成年後見制度の充実
- ・ 全国的に普及の進んでいる手話言語・点字に関する条例の制定

前川恒廣（まえかわつねひろ）彦根市池州町生まれ（61歳）
城西小・西中・彦根東高・東京大学経済学部卒。銀行・フランス留学（MBA取得）・航空会社を経て、前彦根市教育長（民間初）

ここに記載以外の公約については、前川つねひろ公式サイトや、「前より前へ進もう彦根の会」の政治活動用ビラをご覧ください。
<http://maekawatsunehiro.jp> @maekawatsune



経歴

重点政策

国体関連事業の抜本的見直しによる財政の健全化

私は、若い世代と一緒に未来の彦根を創っていきます。そのためにも、数十億円規模の市の財政を改善し、安心して子育てができるような医療費支援や学力向上策を中心に、6つの政策で彦根を「前より、前へ」進めます。

04. 地域の安心安全を前へ

- ・ 病院や消防署等を繋ぐ道路を重点路線化し、災害対応機能の向上
- ・ 交通渋滞問題が顕在化している地点を中心に渋滞解消対策の推進
- ・ 鳥獣害対策（鳥居本／旭森／荒神山等）の推進、下水道未整備地域への普及促進

05. 農商工業を前へ

- ・ 地元の特産品を返礼品に活用し、ふるさと納税を数億円規模に拡大
- ・ 中小零細企業の新たな技術開発や地場産業の活性化
- ・ 地域の農業を守り、後継者の育成、農産物のブランド化による、稼げる農業へ
- ・ 中心市街地活性化基本計画に基づき、早急にまちづくり会社を設立
- ・ 滋賀大データサイエンス学部と共同し、ビジネスコンテストや企業誘致

06. スポーツの力を前へ

- ・ 未来のアスリートを育む、スポーツ・武道の練習環境の整備
- ・ 障がい者スポーツを盛り上げるための環境や設備の充実
- ・ グランドゴルフ専用フィールドの増設



前川つねひろ

田原たつお 市政変革

住みよい街、彦根へ変革

彦根市の貯金は減る一方です！ 市政を透明化し、予算を最適化し、彦根市の大改革を宣言！

「過去最大規模」の予算を連発する大久保市政により、市の財政は破たんに向かっています。まず最初に国体関連事業なども含む全ての事業計画、行政計画の徹底的な見直しを行い、不要な事業を止め、歳出の削減を行って、確実な財源を捻出します。

- ▼ 田原たつおの政策の柱
- ▼ 子育てしやすい、住みよい街づくり
- ▼ 中学生まで医療費・通院費を無料化（最優先）
- ▼ 安全・安心な子どもの遊び場、通学路づくり
- ▼ 高齢者向けサービスの充実
- ▼ 医療・介護サービス制度を拡充
- ▼ お年寄りが利用しやすい交通手段を充実
- ▼ 南部・北部地域の振興策
- ▼ 稲枝駅西口に南部図書館を建設
- ▼ 佐和山城・鳥居本を観光スポットに
- ▼ 彦根を全国へ、世界へプロモーション
- ▼ 文化財を積極的に展示貸出し
- ▼ 国宝・彦根城の櫓再建など、満足度の高い観光施設
- ▼ 車の誘導と駐車場整備による交通渋滞の解消
- ▼ 無料ネット環境の充実（ワイファイフリースポット）
- ▼ クリエイターとコラボする新産業
- ▼ 銀座街など中心市街地での事業活性化を推進
- ▼ 古民家・空き家を活用するため新たに条例制定へ
- ▼ 若い人の移住・定住を推進
- ▼ 危機管理体制の強化
- ▼ 大雪など自然災害に対処する強力なリーダーシップ
- ▼ 役所窓口のサービス、利便性を向上
- ▼ 写真投稿によるメール目安箱で問題点収集へ



田原たつお

たはら

無所属

「市政変革宣言」 田原たつおの決意

自らリーダーとして市職員を率い、市政において眼に見える成果を出して、市民の皆様の市役所に対する信頼を回復いたします。市役所の情報発信力、宣伝力を強化し、市全体のネットワークを構築します。こうしたことが近隣市町との都市間競争の上でも極めて大事であると考えます。また自らトップセールスマンとして県、国、世界に彦根を力強く、粘り強く、売って参ります。

田原 達雄

◆田原達雄プロフィール◆

昭和23年12月1日（68歳）彦根市元岡町生まれ。元毎日放送報道部長、彦根市教育委員、キャリアカウンセラー。父田原又蔵は滋賀県議会議員を二期、彦根市議会議員を四期務めた。ジャーナリストの田原 総一郎は親戚。

平成29年4月23日執行
彦根市長選挙

選挙公報

彦根市選挙管理委員会

1期4年の経験を活かし

堅実で、しなやかなまち

“強い彦根”を創ります。

～全国一の福祉モデル都市へ～

＜決意＞1期4年の経験を活かし、市民の皆さまとともに誇れる強い彦根をめざして市政にまい進する決意です。

きずな 絆で結ぶ 福祉政策

- ◆ごみの“ふれあい収集”(1人暮らしの高齢者等への戸別収集)を始めるなど、支えあうまちづくりをすすめます。
- ◆在宅介護・在宅医療の支援を行い、待機児童の解消など子育て支援を充実します。

こころを育む 教育政策

- ◆学力向上対策や就学前教育の充実を図るなど、未来への投資をすすめます。
- ◆学校トイレの洋式化や幼稚園リズム室のエアコンを整備し、教育環境を充実します。

活力ある 産業経済政策

- ◆企業誘致や立地企業の事業拡大を支援するとともに、地場産業支援をすすめます。
- ◆土地改良区への技術支援、地域農産物の創出や販路拡大など農業政策を推進します。
- ◆ひこにゃんの活用やまちなかへの誘客促進など、観光と商店街の活性化を図ります。

- 透明で公正な市政運営に努め信頼される彦根市を創ります。
- 働き方改革をすすめる、効率的な行政運営に努めます。

一党一派に偏しない市民主権が信条です

プロフィール

1963年彦根市生まれ 2男1女の父 米国ミシガン大学(アナーバー校)社会学部卒業
元障害者支援施設所長 元滋賀県議会議員(2期) 前彦根市国際協会会長 学校法人聖泉大学理事



おおくほ
大久保たかし

53歳

彦根市長選挙

投票日 4月23日(日)

投票時間 午前7時から午後8時まで

※期日前投票・不在者投票の投票期間は

4月17日(月) から 4月22日(土) までです。
(告示日の翌日) (選挙期日の前日)